長野県訪問看護ステーション連絡協議会だより

2022年12月発行　広報担当　山田・鴨田

「訪問看護と虐待防止～虐待の基本的理解と訪問看護の役割」

一般社団法人支援の思想研究会　　上田晴男先生

11月26日（土）13：30～15：00

第8波のコロナ禍の中、看護協会会館にて　zoom参加81名　会場参加13名にて、盛況に研修会が行われました。

令和6年3月31日までの間の努力義務で、「事業所における虐待防止のための対策を検討する委員会の開催、事業所における虐待防止の指針の整備」が必要となってきます。

そのため、長野県訪問看護ステーション連絡協議会では、兵庫県を拠点に全国各地でスーパーバイズ・研修講師を務めていらっしゃる、上田先生に講演をお願いし、会員の皆様に役立てて頂ければと思い研修を企画しました。

今後の事業所での研修等に役立てて頂ければと思います。

研修会に参加して

虐待の基本から訪問看護師としての対応について、事前の質問の内容を取り入れて下さり、わかりやすく学ぶことができました。実際に虐待とみられるケースもあり、擁護者が虐待と認識していないケースが多いことは実感していましたが、高齢者の虐待の要因で50%弱と多いことを実感しました。その中で「擁護者が適切な介護ができるよう支援することも大切」です。また、「虐待？」と疑ったところで「判断はせず行政にまず通報すればいい」こと、看護職として利用者の健康と安全を提案する対応をとる。利用者から看護師への虐待も「我慢せず明確に主張することが重要」ということを学びました。今後の虐待防止の対応に生かしていきたいと思います。
（ゆめの里和田訪問看護ステーション　鴨田）